

ほうふ

Hofu

しぎかい 市議会

発行／防府市議会
編集／議会広報編集委員会
〒747-8501 防府市寿町7番1号
TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179
URL <https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/site/sigikai/>
E-Mail gikai@city.hofu.yamaguchi.jp

だより No.77

令和7年5月1日

新庁舎の紹介 No.2 防府市役所 福祉棟

福祉棟1階に山口県山口健康福祉センター防府保健部(防府保健所)、福祉棟2階に防府市社会福祉協議会、防府市人権擁護委員協議会、更生保護サポートセンター防府、老人クラブ連合会が入っています。
表紙の福祉棟のフリースペースは、どなたでもご利用いただけます。



3月定例議会

議案の概要 P2～P3
議案の賛否 P3
一般質問 P4～P10

議会モニターとの意見交換会 P10
議員研修会 P11
6月定例議会の予定 P12



議会中継及び録画映像がスマートフォンで見られます!

防府市議会



議会中継はこちら

令和7年 3月 定例議会

3月定例議会は2月25日から3月21日までの会期25日間の日程で開催されました。

令和6年度一般会計・特別会計・上下水道事業会計補正予算、令和7年度一般会計・特別会計・上下水道事業会計予算など議案52件、推薦1件、報告2件を審議しました。

主な議案等と審議経過の概要についてお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」はP3をご覧ください。

予算

■令和6年度一般会計補正予算

25億6,327万1千円を増額し、補正後の予算額は633億2,714万7千円となりました。

主な事業（補正額）は次のとおりです。

- ・小・中学校長寿命化改良事業（5億7,700万円）
対象校 華浦小学校（北校舎）
右田小学校（屋内運動場）
国府中学校（北校舎）
- ・小・中学校トイレ洋式化事業（4億1,200万円）
小学校と中学校のトイレを洋式化します。
- ・校舎・屋内運動場LED化事業（1億2,300万円）
- ・小・中学校空調整備事業（9,700万円）
- ・防災機能強化事業（9,200万円）
対象校 中関小学校（南校舎）
- ・物価高騰対策事業
高齢者外出支援事業（5,000万円）
プレミアム付商品券発行事業（1億円）
- ・避難所環境改善事業（1億円）

■令和7年度一般会計予算

当初予算規模は、592億7,000万円（対前年度比2億9,000万円減）、庁舎建設関連経費を除く予算規模では、過去最大の584億6,000万円（対前年度比63億8,000万円増）とする予算案が提出され、賛成多数で可決しました。（賛否No.1）

・主な新規事業は次のとおりです。

- インクルーシブ遊具整備事業（全小学校）（8,500万円）
- 教育ICT環境の整備充実（7億3,522万円）
- 小・中学校理科室空調整備事業（1億3,500万円）
- こども用「歴史のまち防府」読本の作成（1,500万円）
- 緊急就労応援事業（運送業・介護士・保育士・看護師）（1,500万円）
- 带状疱疹ワクチン予防接種事業（2,868万円）
- 斎場の改修（1億7,849万円）

地方創生へのチャレンジ

1. 未来へつなぐ土地利用型農業推進プロジェクト

- ・小・中学校給食へ農業公社で生産した米を全量提供
令和11年度目標25ha耕作・120t生産（8,500万円）
- ・地域おこし協力隊（1,311万円）
- ・未来の担い手育成（1,000万円）
- ・スマート農業推進（500万円）

2. 野島活性化プロジェクト

- （1,600万円）
- ・茜島シーサイドスクールの情報発信強化（100万円）
- ・地域おこし協力隊による魅力発信（500万円）
- ・基本構想の策定 など（1,000万円）

3. メバル公園活力増進プロジェクト

- ・青果・水産市場活性化（1,200万円）

4. 天満宮表参道再生プロジェクト

- ・銀座商店街道路整備事業（5,000万円）
- ・みずかぜ広場整備事業（2,570万円）

- プラスチック資源一括回収事業（1億1,199万円）
- 市内事業者省力化設備等導入支援事業（5,000万円）
- 防府市奨学金貸付事業（2,000万円）
- 「上山満之進翁」特別展の開催（400万円）
- 「もちまきのまち防府」推進事業（100万円）
- 高校総体バドミントン競技大会等開催事業（1,224万円）
- 国道2号台道・鑄銭司間拡幅関連事業（2,400万円）
- 防府環状線西浦交差点改良関連事業（1,000万円）
- 洪水・内水ハザードマップの作成（2,657万円）
- ・主な既存事業の拡充は次のとおりです。

- 夜間オンライン診療事業（2,530万円）
- 地域クラブ推進事業（6,419万円）
- がんばる地域応援事業（1,500万円）
- 就業相談支援事業（500万円）
- こども家庭センター広場整備（1億1,943万円）

■令和7年度特別会計予算・上下水道事業予算

7つの特別会計予算、4つの上下水道事業会計等予算を可決しました。（賛否No.2～5）

条 例

■財産の取得

市内の小学校に入学する児童へ配付する児童用かばん
3年分の購入の契約をするものです。（賛否No.6）
契約の相手方 中村被服株式会社
契約金額 4,928万円

■市事務分掌条例の一部改正

入札及び契約業務の執行体制を強化するため、入札
検査室を廃止し、入札及び契約に関する事項を総務部、
工事の検査に関する事項を土木都市建設部へ再編する
ものです。

■市債権管理条例の制定

債権の管理に関する事務の一層の適正化及び効率化
を図り、もって公正かつ円滑な行財政運営を推進する
ため、債権の発生から放棄までの一連の手続を定める
ものです。

■市基金の設置、管理及び処分に関する条例
及び防府市奨学金貸付条例の一部改正

奨学金制度の拡充を図るため、他の奨学金の貸し付

けを受けるものについても、一定の要件により月額3
万円を超えない範囲内で必要な資金を貸し付けること
ができるようにするものです。

■市国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、本市の国
民健康保険条例の改正を行うものです。
国民健康保険料の基礎賦課限度額を
65万円 から 66万円に、
後期高齢者支援金等賦課限度額を
24万円 から 26万円に、
それぞれ引き上げるとともに、低所得者の国民健康
保険料の軽減措置について、経済動向等を踏まえ、5
割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準を
見直すものです。

人 事

■人権擁護委員候補者の推薦

再任 ^{やまぐち}山口 ^{たいし}泰資 さん
新任 ^{あべ}安邊 ^{かずのり}一教 さん

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否 No.	令和7年第1回定例会（3月）	会派・議員名																				賛否の合計		議決結果					
		自由民主党										公明党	絆	市民の声	無所属の会	国民民主党	市民クラブ	市民と共に	自由民主党 明政会	日本共産党	未来防府								
		上田	上野	宇多村	梅本	河杉	曾我	田中敏	中谷	藤村	安村	河村	生野	村木	三原	山田	重田	和田	久保	森重	石田	田中健	宮元		松村	原田	藤本	賛成	反対
1	令和7年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	22	2	原案可決
2	令和7年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	22	2	原案可決
3	令和7年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	22	2	原案可決
4	令和7年度後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	22	2	原案可決
5	令和7年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	23	1	原案可決
6	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	19	5	原案可決	

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。
※安村議員は議長のため、通常は採決に加わりません。
※議会で継最終日（3月21日）の16分過ぎから賛否の討論が始まります。



討論中継はこちら

Q&A

一般質問



3月定例議会では、19名の議員が市政について質問しました。

ここでは議員本人が要約した質問と答弁の一部を発言順に掲載しています。また、6月に会議録を製本予定ですので、市役所本館1階市政情報閲覧コーナー、防府図書館、ホームページで見ることができます。

各見出しに掲載されている二次元バーコードから、各議員の一般質問の様子を録画映像でご覧いただくことができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。



会議録はこちら



**SDGsの推進・デジタル化の推進
南海トラフ地震への防災対策の強化**

河村 孝（公明党）



問 SDGs推進を次期総合計画でどう取り組むのか。

市長 第5次総合計画では、SDGsの理念に沿って施策を推進し、市民への普及啓発を進めてきた。第6次総合計画では、子どもたちを主体とした持続可能な社会を目指し、野島の活性化や伝統芸能の継承の子ども文化祭、農業の大切さを伝える農業体験等の取組を進める。

問 生成AIの利活用が市内企業で進んでいる。ペーパーレス化等、今後のデジタル化の推進は。

市長 新庁舎では、窓口支援システムや音声表示システムなど、利便性の高い窓口を整備した。生成AIにつ

いては、検証を進め、第6次総合計画に位置付けられるよう取り組む。ペーパーレス化は、電子決裁システムの導入や職員の申請のオンライン化など、内部事務のデジタル化を進め、効率化で得られた時間で、窓口業務等、人と人のつながりを大切にする業務に充てる。

問 南海トラフ地震に備えた防災対策の強化を。

市長 広域防災広場や公会堂北防災広場の整備や道路の整備等、防災力の強化に繋がる取組を進めている。南海トラフ地震対策として、避難所環境の改善を急ぐこととし、段ボールベッドやパーティションをしっかりと確保し、県内初となるトイレトレーラーを配備。津波が到達するまでの2時間のリードタイムで、全ての方が避難できるような避難誘導対策を講じる。また、津波浸水深の表示看板を子ども防災士と一緒に設置したい。



**第6次総合計画について
健康寿命を延ばすピロリ菌検査の普及促進について**

梅本 洋平（自由民主党）



問 来年度は、第5次総合計画の最終年度となることから、次の第6次総合計画の策定に着手されており、先日議会にもご説明をいただいたところである。

そこで改めて、地方創生が叫ばれている中、次期総合計画の策定について、執行部のご所見を伺う。

市長 これまで総合計画「輝き！ほうふプラン」に掲げたプロジェクトは必ず成し遂げるという強い決意をもって取り組んできた。現計画の重点プロジェクトを引き継ぎ、5年前にはなかった県の総合医療センターの建て替えなど社会情勢の変化も踏まえ策定していく。第5次総合計画にて位置付けている2030年の姿でお示ししている、大平園・愛

光園・なかよし園の障害者福祉施設の建て替え、華城小周辺道路、北基地東道路等についてすべて位置付けていく。さらに、大道、華浦、中関公民館建て替え、産業団地の整備などにも取り組んでいく。防府天満宮表参道の再生、野島の活性化、メバル公園エリアの一次産業としての拠点化、土地利用型農業の推進等も次期計画で取り組んでいく。

問 ピロリ菌は幼少期に感染し、長期間持続することで胃がんの主な原因となる。早期発見と除菌治療により胃がんリスクを大幅に低減できることが確認されている。ピロリ菌検査への市の考え方、これまでの取り組みについて伺う。

市長 ピロリ菌検査を行うことは意義がある。市では胃がん検診時に医師の判断によりピロリ菌検査を実施している。しかし山口県のがん検診受診率は低く危機感を持っている。

新年度予算ではがん検診の回数を大幅に増やし、受診率の向上を目指し、ピロリ菌についても啓発していく。



1.ろう者や難聴者の意思疎通支援について 2.道路内に埋設されているインフラの安心・安全について

村木 正弘 (公明党)



問 「手話言語条例」施行に向けての進捗状況及びデフリンピックに向けての取り組み、加齢性難聴者への補聴器の助成について伺う

市長 「防府市障害の特性に応じたコミュニケーション手段の理解・利用の促進に関する条例」の施行から3年が経過し、手話が言語である理解が広がり、専門家や関係者の皆様に聴覚障害者が安心して暮らせる社会の実現に向けた、次の段階として条例を制定する時期が来たのではないかと、その意見をいただいた。本年11月開催のデフリンピックまでの制定を目指す。デフリンピックの種目などの特集や当日はパブリックビュー

イングも開催する。

市長 補聴器購入の助成について現在、医師会等の専門家の皆様のご意見を伺っている。

問 市役所窓口へ軟骨伝導イヤホンの設置について

市長 気軽に行きたくなるような市役所となるよう様々な改善を行う中で高齢者の多い公民館も含め検討を急ぐ指示をした。

問 道路内に埋設のインフラ、技術系職員後継者の育成は
上下水道事業管理者 埋設箇所の深さや設置状況から八潮市のような大規模な陥没は起きない考える。1メートル以上の下水管を自主的に調べ、異常は確認されなかった。硫化水素が出やすい箇所など5年に1回、自走式カメラなどで点検を実施。緊急性に応じて修繕をしている。経験豊富な職員から若手へノウハウを指導し、職場内で勉強会をしている。



令和7年度当初予算、防府競輪について

曽我 好則 (自由民主党)



問 令和7年度当初予算に込めた市長の思いと取組を進めるにあたっての決意について伺う。

市長 庁舎の完成をはじめ、まちづくりが大きく進む今、総合計画に掲げる諸施策を成し遂げなければならない、という強い思いをもって予算編成に臨んだ。

厳しい財政状況にあっても、物価高騰対策、人手不足対策等を講じるとともに、まちづくり、防災対策、子育て支援に重点的に取り組む。

また、中学校部活動の地域クラブ移行は、立上げ費用を公費で負担する防府モデルによる円滑な移行、台湾との交流も生かした「上山満之進翁を顕彰する特別

展」の開催、防府読売マラソンの開催を生かした実業団チーム等の合宿誘致、給食への防府市産米の提供、天満宮表参道の再生、茜島シーサイドスクールの全県化による野島の振興など、先送りできない課題にも果敢に取り組む、次期総合計画につなげていきたい。

問 防府競輪は、年々、売上が低迷してきたが、売上を向上させ、まちづくりに繋がる施設に改修する方向へと市長が大きく舵を切られた。この生まれ変わった競輪場を活かした、今後のまちづくりについて伺う。

市長 新年度当初予算では1億円の一般会計繰出を計上できるところまでできた。こうした繰出を一過性にとことなく、ビッグレースの誘致など売上を伸ばすとともに、県内唯一の競輪場があるという強みを生かし、競輪場を通じたサイクル振興や、競輪場の収益がまちづくりに繋がるよう、関係団体等と一体となって取り組む。



マイナンバーカードについて! ◆赤ちゃんの駅について ◆新庁舎の活用について!

山田 耕治 (絆)



マイナンバーカードについて

問 健康保険証の廃止に伴う普及状況は?

生活環境部長 12月末現在で9万3,319枚、保有率81.9%。

問 福祉医療費助成制度との連携状況は?

保健子ども部長 令和8年1月から基幹業務システムの統一・標準化に向け準備中。

問 医療機関減少の原因は?

保健子ども部長 医師の高齢化、後継者や人材不足など。

問 「カク福」を忘れた場合の対応は?

保健子ども部長 自己負担後、市で手続きして払い戻し。

◆赤ちゃんの駅について

問 赤ちゃんの駅の登録状況は?

保健子ども部長 公共施設21、民間施設28、計49箇所。

問 新施設ができる中でのPR方法は?

保健子ども部長 市ホームページで随時受付。商工会議所の協力を得て登録促進。

問 定期的な最新情報の更新をすべきでは?

保健子ども部長 毎月1日にホームページを更新する。

◆新庁舎について

8階の展望回廊を、市民の憩いの場としてPRしては?

市長 3月から利用時間を夜8時まで延長。PRを行い、利用拡大に取り組む。

問 庁舎内多目的スペースへふるさと納税品や地産地消品の展示や幸せますグッズ販売を検討しては?

市長 提案のふるさと納税返礼品や地産地消の産品も踏まえ情報発信に取り組む。



沿岸部における浸水対策・選挙の投票率向上に向けた今後の取組

上野 忠彦（自由民主党）



問 私の地元であります新田地域を含む沿岸部は、恵み豊かで、美しい瀬戸内海に面しています。

沿岸部に住む我々にとりまして、海からの脅威といえば、台風による高潮や地震による津波であります。近年、自然災害が激甚化・頻発化し、南海トラフ地震の発生の可能性が高まっているとされる中、高潮や津波など海からの脅威に対し、本市の沿岸部におけますハード面・ソフト面の浸水対策について伺う。

市長 市民の皆様の安全・安心を守るため浸水対策をはじめとする防災力を強化する基盤整備にしっかりと取り組む。市民の皆様が「命を守る行動」を的確に行

えるよう啓発をさらに強化していく。

問 若者の投票率向上には、子どもの頃から選挙や政治に関心を持つことが重要と思いますが、防府市では主権者教育にどのように取り組まれているのか。また、移動期日前投票所の実施場所や時間など拡充される内容があるのか伺う。

教育長 新たな取組として防府市の全中学生による選挙経験を実施したいと考えている。例えば、中学生から立候補者を募集し「防府のまちづくり」についての提言を発表する模擬選挙を行う。

選挙管理委員会事務局長 新たな取組として、「家族で一緒に選挙に行こう」キャンペーンを今年の参議院議員通常選挙から実施する。また、期日前投票所及び移動期日前投票所の拡充を図り投票率向上に努める。



全職員参加型の職員提案制度への再構築と、生成AIの活用について

石田 卓成（国民民主党）



問 職員提案制度の意義を再認識し、職員のモチベーション向上と組織活性化、政策の質向上を目指し、自由な提案から政策実現への一貫した流れを生むため、以下の政策提案をいたしました。

新提案 全ての正規職員に、政策提言や業務改善提案を年1回義務付ける全員参加型制度の導入検討を！

新提案 職員の自主的な学習・研究活動と、議員の政策提言や行政視察を連携させる仕組みの導入を！

新提案 不採用となった提案について、匿名での公開を許可するかどうかを提案時に確認し、市民や議会に公開する新たな仕組みの構築を！

市長 若手職員の意見を政策に反映させることで、やりがいや成長に繋がると考えている。職員のチャレンジ精神を重視し、多くの失敗から学ぶことを奨励する。若手職員の起用や外部機関への派遣など、人材育成を積極的に行うことで、組織全体の意識改革と活性化を図る。

問 市役所の業務での生成AI活用を！

市長 社会的・経済的課題解決に貢献することが期待される。リスクも考慮しつつ、次期総合計画への位置づけに向けて研究を進める。

要望 職員が積極的に提案できるような雰囲気を求める。

要望 毎日の仕事が楽しく、趣味のように感じられるような、適材適所の人事を期待する。

要望 意見を出すことや、政策実現に向けて、積極的に行動する意欲的な職員が増えてくれることを期待する。



・がんばる地域応援事業について ・部活動の地域クラブへの移行について

中谷 哲（自由民主党）



問 がんばる地域応援事業について今年度の活用状況及び今後の活用状況について伺います。

市長 今年度は12月までに3回の募集を行い、ほぼ全域から交付申請があり97件の利用がありました。より多く利用していただくため、次年度は前期、後期と自治会単会で2回まで申請が出来ることや、新たに自治会連合会にも30万円の補助枠を設けて利用促進し、これまでに以上に地域づくりがより活発になることを期待します。

問 令和7年度末の完全移行にあたり、現状及び今後の取組みについて伺います。

教育長 令和7年度は「活動場所への移動」について

は公共交通機関を利用して地域クラブに通う生徒の交通費を全額負担します。令和8年度には、マイクロバスを3台導入し、移動の支援に努める。「クラブ運営費に必要な経費」についてはクラブの立ち上げに必要な備品や用具等の購入を公費負担します。「指導者資格の取得」については、子供達が安全で質の高い指導が受けられるように、指導者として携わる方に対して、公認指導者資格取得費用を全額公費負担します。

こうした地域クラブへの取組みは、防府市ならではのものであり、他市に例のない防府モデルといえるものである。

地域移行後も新たな課題は生じるものと考えてるが、持続的に運用されるよう、継続した取組みが必要。今後も現場の声を聞きながら行政、家庭、地域が連携しよりよい地域クラブとなるよう取組んでいく。



女性視点の防災の取り組みについて

宮元 照美（市民と共に）



問 社会のいろいろな分野で女性の参画が求められている中、防災活動においても女性の参加が必要と考える。女性視点を防災活動に取り入れるための防府市の取り組みについて伺う。

市長 災害時における女性の視点は大変重要。本市では防災危機管理課に消防職員、退職自衛官を各2名配置しており今年度から、更に女性職員を増員し、女性の視点を取り入れた体制を強化した。こうした体制で災害時の初動72時間に対応できる市町は防府市のみ。避難が長期化した場合には、可能な限り避難所へ女性職員を配置することとしている。

問 防府市の人口は男性約55,000人、女性約57,000人、女性の方が約2,000人多い状況。避難所においては女性特有の問題に、対応する必要があるがいかがか。

市長 本市には50名を超える女性防災士や30名を超える女性消防団員がおられ、女性が自主防災活動を担っている地域も増えている。避難所生活における女性に配慮した対策も不可欠であることから、この度の補正予算において、安心して着替えや授乳ができるようプライバシーを守るパーティション等をしっかりと確保するとともに、衛生的で、女性が安心して利用できるトイレトレーの配備を急ぐこととしている。

今後もしっかりと女性の参画を進めていく。



地域クラブ活動への移行に伴う諸課題、市議会議員選挙の投票率について

藤本 真未（未来防府）



問 地域クラブ移行の自転車通学について

教育部長 地域クラブに参加する生徒の自転車利用は通学距離に関わらず、可能となるよう学校と調整中。

問 移動に関する荷物の軽減(置き勉強)、タブレット端末の活用について

教育部長 教科書等については、これまでも学習上の必要性、登下校時の負担等を考慮し、持ち帰らず学校に置くなどの対応をしている。クラブ活動に必要な道具や物品等については、活動場所で管理・保管できるように環境整備を進めている。タブレット端末の活用なども含め、研究していく。

問 練習日程の把握とテスト週間統一の課題は？

教育部長 テストも含めた学校行事は、各学校の特色ある教育活動の展開をするために決定している。校長会等で情報共有し、可能なところから調整に努める。

問 市議会議員選挙の投票結果の集計の公表について

選挙管理委員会事務局長 本市HPにて「選挙の記録」のページに2月末に追加内容を掲載した。

問 期日前投票を含む、選挙の周知と若者の投票率向上についての今後の取り組みについて

選挙管理委員会事務局長 公式LINE、SNS各種、メール等を用いた情報発信を行う。新たな取り組みとして、「家族と一緒に選挙に行こう」キャンペーンを実施予定としている。



これからの市営住宅について こどもの遊び場について

生野 美輪（公明党）



問 市営住宅は安心・安全の住まいとして重要な役割を果たしてきたが、社会の多様化とともに、変化が必要と考える。空き住戸の活用と活性化への取り組みは。

市長 これまでも計画的に、建替えや改修を行うとともに、空き部屋の有効活用を検討してきた。市産業戦略本部でも市営住宅の社宅としての活用への要望や、専門学校からも学生たちの住居の確保が求められている。令和8年度より空き部屋の法人等への貸出しに組み込み、令和7年度は活用する住宅の改修を行う。ニーズを見極め地域の実状に対応した活用に取り組んでいく。

問 坂本住宅の住民の要望への対応と今後の計画は。

市長 入居者を対象としたアンケートの実施や住民説明会を行い、設計や住替えに意見を反映している。令和10年度に第1期の入居を開始できるよう、7年度中に設計を完了し、8年度から工事を始める。エレベーターの設置などユニバーサルデザインの採用や公園の整備など全国のモデルとなる団地に整備していく。住替えについても出来るだけ負担のないよう進めていく。

問 猛暑などでこどもが外で遊びにくい環境になっている。また雨の日に遊べる場所が少ない。

市長 メバル公園には休憩施設を整備し、ミストシャワーも設置した。他の児童公園でも高木で木陰を作るように努めている。今後必要な猛暑対策をしていく。また雨の日でも学んで遊べるルルサス、アスピラートーと鉄道高架を挟んだ南側のであいの広場や商業施設が魅力あるエリアになるよう、さらに整備していく。



児童用かばん支給事業について
防府読売マラソンの今後の大会運営やPRの展望について

重田 直輝（市民の声）



問 児童用かばんの独自ウェブアンケートを実施し167件の回答を得た。多くの家庭がランドセルを所有すると同時に、かばんの使用率が低い実態が明らかになった。児童、保護者ともに非常に不評である印象だが、どのように事業を考えているか。

教育長 未就学児や児童の関係者、児童からも肯定的な意見を聞いている。同様の事業は他県でも広がっているため、かばんの良さを引き続きPRしていきたい。

問 各家庭で必要な物を購入できるよう現金やクーポン券による支給が多く求められている。かばんの受け取り、給付金等の選択式にしてはどうか。



防犯灯の設置について
適正な職員配置について

森重 豊（無所属の会）



問 地域クラブ活動移行に伴い、子どもが活動場所へ自転車で移動することがあると思われるが、移動場所への道筋において、民家等も無く安全が確保できない場所に対して防犯灯が必要と考えるが、いかがでしょうか。

市長 令和4年度からは、小中学校の通学路で、自治会では設置が困難な場所等を対象として、市による防犯灯の設置を開始した。現在、小中学校などの通学路に、子どもが安全・安心に登下校できるよう26基の防犯灯を設置している。地域クラブに参加する全ての子どもを対象に、公共交通機関を使って移動する場合は、費用を全額公費負担とすることや、完全移行する令



路面下の上・下水道管等の地下埋設物について

和田 敏明（市民の声）



問 上・下水道管の老朽化は全国共通の深刻な問題となっている。義務化されている上・下水道管の点検の実施年及びその点検結果と不良個所対策は。

上下水道事業管理者 5年に1回以上の頻度で点検しており、異常はない。異常が認められた場合は、早急な対応を行う。

問 路面下の空洞化状況調査は実施しているのか。

土木都市建設部長 実施していない。

問 路面下の空洞化調査は、義務化されていないが、安全を確保し、安心を届けるために実施しては如何か。

土木都市建設部長 実施に向け検討する。

校則見直しについて

教育部長 かばんと現金等の選択式の実施は考えていない。

要望 PRの効果も限定的で一向に使用率も上がらず、子どもの安全安心にも保護者の経済的負担軽減にも寄与していない。改めて選択式を要望する。

問 真に求められる事業とするため、プロポーザル入札の要領の決定過程への保護者や子どもの参画や、入札点数にアンケート結果の反映が必要ではないか。

教育部長 引き続き、子どもと関わりの深い団体からの推薦のあった委員で構成する審査委員会で実施していく。

要望 毎年約1,760万円の予算はわずかと思う方もいるかもしれないが、市民の声を反映しないまま事業が開始、継続する状況は問題がある。透明性のある効果的で求められる事業展開を要望する。その他、防府読売マラソンの今後について。 独自アンケートの結果



和8年度からは、マイクロバスによる送迎でしっかり支援することとしており、地域や教育委員会等と連携し、子どもたちの移動経路の把握や、道路環境の確認に努め、必要な場所があれば、新たに防犯灯を設置してまいります。

問 まちづくりが順調に進んでおり、職員の皆さんの頑張りには頭が下がる思いであります。心身ともに健康で働きやすい職場を維持するため、適正な職員の配置についてどのように考えているか。

総務部長 ワーク・ライフ・バランスを推進するため、ライフステージの変化に応じた働き方の支援に取り組んでおり、今年度から、男子職員の2週間以上の育児休業100%取得の取組を開始し、適正な職員配置と働きやすい環境を整えるために、必要な職員については、採用する事としています。

問 これまで要望してきた、各小・中学校の校則の見直しの進捗状況を尋ねる。

教育長 校則の見直しガイドラインを策定し、ホームページへの掲載と全体の8割の学校で児童が直接的に、4割の学校で児童・保護者・地域が校則の見直しに参画している。

【意見】 すべての学校を調査した限りでは、特に色指定や服装等やホームページへの掲載状況はいわゆるブラック校則等の改善が見受けられない。

【要望】 児童生徒が主体性を持ち、のびのびと健やかに成長し、豊かな個性を育むことができるよう、今一度、各学校へ向け、時代に即した校則の見直しを行うよう促していただきたい。

【その他の質問】 生成AIの活用とデジタル化の推進について少子高齢化による人口減少や人材不足が深刻化する中、生成AIを活用し限られた人材で市民サービスの質を維持・向上していくための質問。



市民からの要望への対応について

久保 潤爾（無所属の会）



問 市民からの要望に対し、即時対応できるものについては迅速に対応していただいているが、実現に時間を要する要望について、進捗状況を知らせているか。

生活環境部長 要望は原則30日以内に、担当課から代表者に回答している。道路や河川に関する要望は多く、中には完了まで数年を要するものもある。

土木都市建設部長 定期的な進捗状況の報告はしておらず、問い合わせがあった場合には回答している。

問 要望への対応状況を、ホームページで公開している自治体もある。市民との協働、情報公開の観点からこのような取り組みをしてはどうか。

生活環境部長 職員が直接地域に出向き、丁寧に対応していくことが必要であり、一律に公開することは考えていない。

問 要望への対応状況は、どのような形にせよ公開しないということか。

生活環境部長 ホームページ上での公開も一つの考え方だが、まずは当事者と丁寧に情報を共有させていただくことを最優先に考え、運用していきたい。その上で公開に関しては調査研究をしていきたい。

市長 公開するにあたっては、掲載方法を工夫する必要がある。要望を出した方の立場に立って、どのような形がよいのかデジタル化を進める次期総合計画の中で検討していく。

要望 デジタル技術を使うことが、行政の説明責任、情報公開責任を強化していき、それが市民との協働につながっていく。要望への対応状況をはじめとして、しっかりと検討していただきたい。

要望への対応状況を公開している富山県南砺市のHP



「防犯のまち防府」都市宣言で取り組みを 市長「犯罪スピードに後れず対応する」

三原 昭治（絆）



問 地域防災の要となる消防団員の現状と確保への取り組みは。

消防長 条例定数408人に対し、現在361人で、平均年齢は46.9歳。団員確保の対策では、福利厚生面では消防団応援の店事業や団活動の支援補助。処遇面では出勤などの報酬額を県内トップレベルへの上げや退職報奨金の増額。設備や装備の更新なども順次行っている。団員個別の勧誘や地域イベントの参加などで、来年度は2人増の見込み。

問 機能別消防団制度があるが、小中学生や高校生に広報団員として活動してもらうことで、意識の高揚、

将来の団員確保に繋がると思うが。

消防長 今後の検討とし、いろいろな面から団員確保に努めていきたい。

問 闇バイトによる強盗事件が相次いでいるが、市の取り組みは。

市長 凶悪化、多様化する犯罪の変化のスピードに立ち後れることなく、対応していく。

問 防犯カメラの設置や防犯グッズへの補助制度が、全国の自治体で次々と創設され、積極的な対策が行われているが、防府市も補助制度を設けて防犯対策を行うべきでは。また、「防犯のまち防府」都市宣言を行い、防犯対策は防府市が一番!「すごいぞ!防犯のまち防府」を全国に知らしめることで、抑止効果にもなるが。

市長 宣言することで抑止にも繋がる。補助については、今後、検討していく。



ひきこもり支援の充実を

田中 健次（市民クラブ）



問 厚生労働省は、3段階のひきこもり支援の取り組みを示し、防府市は、3番目の「サポート事業」で、相談支援などを任意事業として取り組んでいる。

2番目の「ステーション事業」は、相談支援、居場所づくり、ネットワークづくりを必須事業とし、県内では、宇部、山口、萩、山陽小野田市が実施している。

1番進んだ自治体は、「地域支援センター」を設置し、3つの必須事業のほか、家族会の開催、住民向け講演会を必須事業として、総合的に進めており、防府市もより上の段階の事業に取り組むべきではないか。

市長 国の推計では、防府市で約1,300人がひきこも

りの状態と推測されます。市では、相談窓口を開設し、昨年8月から「ひきこもりサポーター派遣事業」も開始しました。また、県の保健所と連携して、居場所づくり、ネットワークづくりに取り組んでいます。

問 サポーター派遣事業は、以前からあったが、利用がなかったのではないかと。

福祉部長 3年間休止、昨年再開し、実人員1人に実施。相談支援は11人で、制度の周知をしたい。

要望 現地に伺い調査した愛知県東海市（11万人）では、「地域支援センター」を開設し、来所実人数100人超で、述べ人数は2,700人を超える。こうした取り組みを防府市でも行なうよう求める。

その他の質問項目

◆市公共施設のバリアフリー整備

◆公民館通路への手すり設置



地域包括支援センター、小学校の防災訓練に自衛隊参加、大阪万博への見学

原田 典子（日本共産党）



問 地域包括支援センターの業務が増えている現状から、配置基準の見直しや処遇改善への市の考えを伺う。

市長 介護全般の相談件数は昨年度より上回り、業務は複雑化、深刻化し、対応する職員の負担が増えていることは確かである。新年度は各地域包括支援センターに認知症地域推進委員の配置を検討している。

問 市内小学校の防災訓練に自衛隊が参加した事例が2件あった。参加の経緯と是非を問う。また、中学校の修学旅行で大阪万博見学を予定している学校があり、その経緯と安全面での市教委の対応を問う。

教育長 地域住民からの要望で警察や消防、自衛隊が

参加した。地域で協力することは良いことであり、自衛隊ヘリの見学時は安全に注意して行った。大阪万博のオンライン見学と万博推進委員会の説明と対策を信頼している。バス会社と連携して安全に努める。

問 新庁舎への喜びの声を多く聞いているが、その反面、要望も多い。難聴者への対応で窓口への軟骨伝導イヤホンの導入を求める。また避難経路の表示などが小さくて分かりにくいいため改善を求めたい。

総務部長 軟骨伝導イヤホンについては他からの要望もあり新庁舎だけでなく公民館などへの設置も検討中。表示など様々な要望も改善予定。他1問、次年度から带状疱疹ワクチン定期接種が始まるが、50歳からの任意接種での市の補助を要望した。



「スポーツのまち防府」合宿誘致の取組みについて

藤村 こずえ（自由民主党）



問 陸上など、スポーツ合宿の誘致は、経済的な活性化だけでなく、交流人口や関係人口の拡大にもつながっている。本市が持つ豊富な観光資源やスポーツ施設は合宿誘致を進める強みでもある。現在も実業団陸上部が合宿に訪れ、アスリートとの交流など、様々なイベントに取り組んでいるところではあるが、一過性にするのではなく、それによって繋がる交流は、市民の生きがいがづくりなどにもつながり、全国に防府ファンを作るはずである。今後はどのように取り組まれるのか。

市長 防府市スポーツ協会100周年などもあり、令和6年度は様々な事業を展開。次の100年につなぐこと

が重要。合宿誘致は関係団体が一体となって取組んでいる。アスリートファーストの合宿施設があり、練習環境と滞在環境の両面で充実した受け入れ態勢を整えている。カネボウ陸上部が練習した佐波川沿いのコースは全国的にも高く評価され、10以上の実業団が本市で合宿している。応援する事業を構築し、心のこもったおもてなし、コースの安全、路面環境などの整備を進める。まち全体が応援団となってサポートし、「防府から世界へ」という流れを作り、可能な限り声援を送っていきたい。スポーツを通じた交流人口の推進に努める。

提案 マラソン練習のため、市民も走れる「佐波川周回コース」を整備してはどうか。



議会モニターとの意見交換会(1/17)を開催しました

モニターの皆さんからは、子育て世代、若年層への議会への関心の惹起、インターネット中継についての感想、議会を傍聴された際の気づき、に関するご指摘などについて、ご意見をいただきました。

議会への関心の向上のために、若い世代の投票率向上に向けた働きかけの必要性や、議員個人によるSNSを活用した情報発信を求める意見がありました。

議会の傍聴しやすさの向上のために、新庁舎が供用開始となり、庁舎内での議会棟や議会開催の案内を充実させてほしいという具体的なご指摘も頂きました。

その他、一般質問を傍聴した際の感想など、活発な意見交換が行われつつも、終始穏やかな口調で、会議

室は温かい空気に包まれました。

子育て世代、若年層や市民の皆さまに関心を持ってもらうことは議会の大きな課題の一つです。

モニターの皆さんとやり取りができ、意義深い意見交換会となりました。



議員研修会(1/27)を開催しました

名古屋学院大学法学部教授の松村亨氏を講師に迎え「二代表制と議会の議決の意義―契約制度を中心に―」を演題に、議員研修会を開催しました。

講演では、議会の権限や議決権の重要性に加え、契約手続きにおける一般競争入札の原則、指名競争入札・随意契約の要件、総合評価方式の活用などが説明されました。

また、議会の議決については、重要な契約や財産の取得などについて議会の議決が必要であり、議決を得ずに契約を締結した場合、その契約は無効となるという最高裁の判例も紹介されました。

さらに、議会の役割の重要性とともに、契約手続きの適正性、予算との関係の明確性、債務負担行為の活用など、地方自治体における議会運営上の留意点についても言及があり、有意義な研修会となりました。



地方自治法に基づき、議会に常に置かれている委員会です。

議員は、総務・教育民生・産業建設委員会のうち、必ずどれかの1つの委員会の委員になっています。

総務委員会



所管事項
防災・財政・税務・文化・
スポーツ・観光・消防・
選挙など

教育民生委員会



所管事項
戸籍・環境・健康・福祉・
教育・文化財など

産業建設委員会



所管事項
産業・道路・上下水道など



2月

- 18日 勉強会
- 19日 議会運営委員会
- 25日 3月定例議会開会
議会広報編集委員会
- 26日 予算委員会（全体会）
常任委員会（総務・教育民生・産業建設）
- 28日 本会議（現年度採決）

3月

- 4日 本会議（一般質問）
- 5日 本会議（一般質問）
- 6日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
会派代表者会議
議会改革推進協議会
- 10日 予算委員会（全体会）
- 11日 総務委員会・予算委員会総務分科会
- 12日 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
- 13日 産業建設委員会・予算委員会産業建設分科会
- 17日 予算委員会（全体会）
議会広報編集委員会
- 21日 3月定例議会閉会
- 27日 議会広報編集委員会

4月

- 1日 議会モニター委嘱式
- 4日 全員協議会
議会広報編集委員会
- 25日 総合交通体系調査特別委員会

6月定例議会の予定

- 6月16日（月） 本会議（開会）
- 19日（木） 本会議（一般質問）
- 20日（金） 本会議（一般質問）
- 23日（月） 本会議（一般質問）
- 25日（水） 予算委員会（全体会）
- 26日（木） 総務委員会
- 27日（金） 教育民生委員会
- 30日（月） 産業建設委員会
- 7月2日（水） 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



6月定例議会の予定

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

「議会だより」は再生紙を使用しています。
処分する際は、「雑がみ」として分別収集に出しましょう。

編集後記

議会広報編集委員会（◎委員長、○副委員長）

◎宇多村史朗 ○村木正弘 石田卓成 上野忠彦 松村学 森重豊 和田敏明

新年度予算が成立し、新たな希望を胸に、防府市は未来へと歩みを進めます。市民の皆様の声を真摯に受け止め、議論を重ね、熟考を期して、この予算は編成されました。

また、本号表紙写真の福祉棟には、防府市社会福祉協議会と山口県防府保健所等が移転しましたので、本館2階の福祉総合相談窓口を中心とした福祉関連窓口フロアと一体となって、様々な問題に、より総合的に対応することができるようになりました。市民の皆様

の福祉の向上、地域の活性化拠点として、末永く愛されることを願っております。

本誌では、議員の一般質問や新年度予算について、できる限り分かりやすく解説いたしました。議会には、常に市民の皆様の目線に立ち、開かれた議会を目指して参ります。市民の皆様と共により良い防府市を築くために、これからも全力で取り組んで参ります。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。